

6月7日のレッスン

デボラとバラク

主要聖句：「そのころ、ラピドトの妻である預言者デボラがイスラエルを裁いていた。彼女はエフライムの山地、ラマとベテルの間にあるデボラのヤシの木の下に住んでおり、イスラエルの民は裁きを求めて彼女のところへ上って来た。」

士師記 4:4,5

選読箇所：

士師記 4:1-24; 5:1-3

80年にわたる平和と祝福の時代を過ごした後、イスラエルは不忠実であったため、ヤビン王とその将軍シセラの手によるカナン人からの迫害に遭った。しかし、神の摂理により、敬虔な女性が指導者の地位に立てられた。彼女は預言者であり、イスラエルの士師であったデボラであった。

「ヤシの木の下」に座っていたデボラ（主要聖句に記されている通り）は、人々の相談相手として求められた。彼女は並外れた知恵と誠実さ、そして勇気を持つ女性であった。イスラエルの悲慘な状況を把握したデボラは、戦士バラクを訪ねた。彼女は彼に言った。「イスラエルの神、主は、『行ってタボル山に集まり、ナフタリの子らとゼブルンの子らの中から一万人の兵を連れて行きなさい』と命じられたではないか。そうすれば、わた

しは……ヤビンの軍隊の長シセラを、その戦車と大軍と共に、あなたのところへ引き寄せて、あなたの手に渡そう。」士師記4章6、7節

バラクはこの言葉を以前にも聞いていたが、何もしなかった。今、デボラの励ましを受けて、行動を起こす時が来た。主の言葉は彼の信仰を奮い立たせ、指導力を強めるのに十分であったはずだが、バラクは依然として躊躇していた。彼はデボラに言った。「もしあなたが私と共に行くなら、私も行きます。しかし、もしあなたが私と共に行かないなら、私も行きません。」（士師記4:8）。バラクの躊躇は、彼の信仰の弱さを示していた。デボラはバラクと共にいくと宣言したが、その結果もたらされる勝利と栄誉は、完全に彼のものではないと告げた。彼女は言った。「確かにあなたと共に参ります。しかし、あなたがたが成し遂げるこの戦いは、あなたの栄誉のためにはなりません。主はシセラを女の手に移されるからです。」士師記4:9

シセラとその軍勢、そして九百台の戦車に対する戦いは、完全な大敗北となった。神は約束どおり、彼らをバラクの手に移された。シセラは戦車を捨て、徒歩で逃げようとした。主は、イスラエルの別の勇敢な女性が彼を待ち受けるよう仕組まれた。ヘベルの妻ヤエルは、逃亡者となったシセラを自分の天幕に避難するよう招き入れた。彼女は彼に乳を飲ませ、その後、彼を覆って寝かせた。士師記 4:13-19 戦いで疲れ果てたシセラは、深い眠りに落ちた。ヤエルは片手に天幕の杭、もう片手に槌をしっかりと握りしめた。彼女は、イスラエ

ルの敵であり圧制者であるシセラが眠る天幕に入り、その杭を彼のこめかみに突き刺して地面に打ち込んだ。（士師記4:21,22）。こうしてイスラエルの勝利は完全なものとなり、デボラが預言した通り、シセラは「女の手」によって倒されたのである。

デボラとバラクは、それぞれ異なる視点から私たちに大切な教訓を教えてください。神が私たちに命じられるとき、私たちは速やかに従うべきです。デボラは 神の御心を行うことに忠実であり、確固たる決意を持っていました。彼女は大きな祝福を受け、神の御言葉における信仰の模範とされました。バラクの経験は、たとえ私たちの信仰が弱くても、神が勝利を与えてくださることを教えてください。「私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださる神に感謝します。」コリント人への手紙第一 15:57